



# 大学院教育学研究科

所属・職位	大学院教育学研究科（教職大学院）・講師	
氏名	山本 遼 (Yamamoto Ryo)	
取得学位	修士（教育学），広島大学，2013年3月	
SDGs目標		

研究分野	教育経営学
研究キーワード	スクールリーダー教育，クラフト，アクション・リサーチ
研究内容	<p>□専門領域は教育経営学である。スクールリーダー教育を研究テーマとしており，主に下記の3つの研究課題に取り組んでいる。</p> <p>(1) 戦略クラフティングに基づくスクールリーダー教育に関する研究</p> <p>現在，支配的な戦略論は，事前にリーダー層が組織内外の環境を分析してビジョンや戦略を形成し，それらを組織構成員が実行すると考える戦略プランニングである。カナダの経営学者ミンツバーグは，この戦略論が戦略形成のプロセスを歪めていると批判し，組織は行為や経験を通じた学習によって，ビジョンや戦略を創発的に形成すると考える戦略クラフティングを提唱する。そして，この戦略論を踏まえたマネジメント教育論を展開している。彼のマネジメント教育論に注目して，スクールリーダーに求められるマネジメント能力やその能力を高めるためのカリキュラム，教育方法について，研究を行っている。</p> <p>(2) サイエンス（科学）の時代のスクールリーダーに替わるスクールリーダーを養成するスクールリーダー教育に関する研究</p> <p>アメリカでは，1980年代半ば以降，スクールリーダーの専門性の基礎となる知識ベースについて，科学的・理論的な知識に加えて，クラフト（経験から得られる技）的な知識の側面に光が当てられ，実践的な教育が行われるようになる。こうした動きを主導した論者たちは，スクールリーダー像やスクールリーダー教育の在り方をいかに転換しようとしたのかについて，研究を進めていきたいと考えている。</p> <p>(3) アクション・リサーチを中核とする教職大学院におけるスクールリーダー教育プログラムに関する研究</p> <p>マネジメントはクラフトの側面が大きく，実際の仕事（実践）を通じた省察によって学習する必要がある。こうした考えのもと，学校の課題解決を通してマネジメント能力の開発を狙う教育方法であるアクション・リサーチを中核とする教職大学院のカリキュラム構成の考え方等について，研究を行っている。</p>
研究業績・アピールポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 曾余田浩史・金川舞貴子・山本遼・佐々木優・横山達也「教職大学院における「スクールリーダー教育者」の力量形成の課題」中国四国教育学会編『教育学研究紀要』第66巻，2020年，614-625頁。</li> <li>・ 山本遼「戦略クラフティングの発想に基づくスクールリーダー教育に向けて」末松裕基編『教育経営論』学文社，2017年，88-105頁。</li> <li>・ 山本遼「経営戦略論の観点から見たP・ハーリンジャーのスクールリーダー教育論に関する考察」中国四国教育学会編『教育学研究ジャーナル』第19号，2016年，21-30頁。</li> <li>・ 山本遼「協働型リーダーを養成するスクールリーダー教育プログラムに関する一考察：スタンフォード大学「将来の校長プログラム」の事例を通じて」『広島大学大学院教育学・研究科紀要・第三部』第64号，2015年，95-104頁。</li> </ul>